

【水の里の旅コンテスト2019 応募企画】

【一般部門】

福井県 福井市

『「九頭竜川」の豊かな恵み 九頭竜川の今と昔を源流からたどる旅』

(観光地域：福井県 福井市、大野市、永平寺町)

【日程】	1泊2日		
【実施時期】	春・夏・秋		
【催行人員】	40名(最少催行人員：20名)	【お勧めする旅行者層】	外国人にお勧め
【旅行代金】	53,520円 (大人1名)	【内訳】	
		バス借り上げ(福井県内2日間) 25万÷40名=6,250円 ガイド1名(2日間) 50,000円÷40名=1,250円 夕食10,000(泰平)、昼食2,000円(ふ志田)、650円(水の駅)、 ホテル(朝食含む)7,000円 入館料計370円、東京-福井往復(JR)26,000円	
【企画趣旨(伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント)】			
※詳細な行程と各観光ポイントは別紙に記入。 九頭竜川水系は、壮大な自然美を誇る源流部の九頭竜湖から、風情のある町並みの中を流れる下流域の芝原用水まで、福井の人々にその恩恵を多いに与えてきた。 しかしながらこれまで、これらの資源は生活者である地域住民が享受しているに留まっていることが多かった。 今回は、この九頭竜川水系の貴重な資源を、美しい日本の地方として世界と日本全国に向けて発信する。併せて自分達が居住している九頭竜川水系の素晴らしさを地域住民自身にも認識してもらい、水と地域との関係をレガシーとして残していくことを目的としている。			
【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足度を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
事業実施前には、事前に各施設に対して綿密な下見を重ねることで、危険になりうるポイントがないか確認し、十分な対策を行う。		・アレルギー対応、ベジタリアン、ヴィーガン対応が必要な参加者を事前に確認する。 ・屋外見学が多いため、天候条件に対する対策を周到に行う。	
【インバウンド対応のための工夫】 (※任意)			
福井市が国際交流事業への対応等で雇用しているアメリカ人などを活用し、フェイスブックなどのSNSで情報を海外に向け発信する。			
【企画協力(後援)機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力(後援)機関・団体名等】	【主な役割】
①国土交通省近畿地方整備局	九頭竜ダムでの対応	⑤永平寺町	町内各施設での対応
② "	鳴鹿大堰での対応	⑥福井市	養浩館庭園等での対応
③福井県内水面総合センター	施設での対応	⑦福井市東郷地区	地区の案内
④大野市	九頭竜湖等での対応		
【特記事項】	現在福井県は、訪日外国人の訪問者が全国で下位に位置している。この企画により認知度を大きくアップさせ、観光客増加に伴う九頭竜川流域地区の経済的効果を拡大させたい。		
【催行実績】	無		

【 行 程 表 】	
1日目	東京駅(6:26) → 福井駅(10:00) → 福井県内水面総合センター → 九頭竜川鳴鹿大堰 → 《昼食》ふ志多(永平寺町・鮎料理) → 九頭竜湖(夢のかけ橋) → 九頭竜ダム → 福井市内ホテル 《宿泊》リバージュアケボノ(足羽川沿い) 《夕食》旬味 泰平(足羽川沿い、福井の地酒を揃えた日本料理店) (夜間:桜のシーズンは足羽川桜並木ライトアップ鑑賞、蛍のシーズンは「一乗谷あさくら水の駅」蛍鑑賞ツアー催行予定)
2日目	ホテル → 養浩館庭園 → 一乗谷朝倉氏遺跡 → 《昼食》道の駅「一乗谷あさくら水の駅」(おろしそば、ソースカツどん) → 東郷地区堂田川(足羽川用水)散策 → 福井駅(16:44) → 東京駅(20:33)

【 主な観光ポイント (観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など) 】		
【九頭竜湖と九頭竜ダム】	【鳴鹿大堰】	【九頭竜川の鮎】
 <p>【コメント】 九頭竜ダムによって作られた人口湖の九頭竜湖は、豊かな自然に恵まれ四季折々の美しさを見せてくれる。特に秋には紅葉が非常に美しく、湖に移る紅葉が素晴らしい。夢のかけ橋の橋上は「インスタ栄え」の絶好のポイント。 九頭竜ダムは岩を積み上げてつくった日本有数のロックフィルダム。</p>	 <p>【コメント】 江戸時代から農業用水の水源としてこの地に石積みの堰があり、歴史のふるい堰である。2003年に完成した現在の堰は多目的ダムとして再開発された。魚道観察室も設置されており魚が魚道を登る様子を観察することも出来る。 併設の九頭竜川資料館では治水の歴史や流域の自然などを学べる。</p>	 <p>【コメント】 九頭竜川は鮎つりのメッカとして全国的な人気があり6月から11月頃のシーズンには多くの釣り人でにぎわう。 水流が豊かで水深の深い九頭竜川の激流をかき分け泳ぐ鮎は、身が引き締まった上質の鮎との評判が高い。6月の若鮎、9月頃までの脂の乗った成魚、それ以降の子持ち鮎など、季節に応じた旬の味が楽しめる。</p>
【養浩館庭園】	【一乗谷朝倉氏遺跡】	【道の駅「一乗谷あさくら水の駅」】
 <p>【コメント】 福井藩主松平家の別邸で、江戸時代初期から中期を代表する名園の一つ。「御泉水屋敷」と称されるように、優れた水の造詣と、庭、屋敷の一体感が見事である。 庭園内には、当時福井城下の飲料水としても使われていた、九頭竜川から引いた水路である「芝原用水」を引き込んでいた。(現在は地下水利用)</p>	 <p>【コメント】 九頭竜川水系足羽川支流の、一乗谷川沿いに位置する一乗谷朝倉氏遺跡は、戦国時代に越前国を支配した朝倉氏の遺跡。 京都の金閣寺、広島の大分神社に並び国の三重指定(特別史跡・特別名勝・重要文化財)を受ける大変貴重な遺跡である。 復元町並は武家屋敷や庶民の町並みがリアルに再現されている。</p>	 <p>【コメント】 人と水との深い関係をコンセプトにした「道の駅」。裏に流れる足羽川の水を引いてまわる直径4mを超える三連水車が目印。 6月にはビオトープで蛍を鑑賞することも出来る。 福井名物「おろしそば」を、打ちたて茹でたてで味わえる他、同じく福井名物の「ソースカツどん」も提供する。</p>